

JSCA指導者検定会 シットオントップカヤック ベーシック報告書

報告者
報告日

末永 直樹
2020年12月11日

検定会場	長崎県平戸市		
開催日	知識課目	2020年12月7日	
	技術課目	2020年12月8日	
検定会場	知識課目	平戸カヤックス	
	技術課目	平戸市川内町 千里ヶ浜	
主管	JSCA公認スクール	平戸カヤックス	
種目	シットオントップカヤック		
担当検定員 (チーフ) (第2)	末永 直樹	資格	ベーシック検定員
		資格	
アシスタント		資格	
デモ		資格	
研修参加者	田中 昭一郎	資格	アドバンストインストラクター
		資格	
		資格	
		資格	
受験者数		3名	
単位取得者数		3名	

天候等自然条件	12/8 曇りのち晴れ 風向:北西~西 風速:2~3m/s 気温:11℃ 水温:19℃ 波高:0.1~0.2m 風裏の海域で沿岸は安定した海面		
安全技術 実施内容	艇種の特性 に関して	ターポン120 2艇 ヒラドシェイカー 1艇 シットオントップの場合、シーカヤックと比べて多彩な形状が多いために、自身が乗るカヤックの特徴をよく理解しておく必要がある。再乗艇時は、乗り込む位置や手を置く位置などの確が必要となる。再乗艇時にシートが妨げになる場合があることを認識しておくこと。	
	レスキュー	再乗艇、アシストレスキュー、牽引を受験者全員が実施。 受験者全員が、カウテール付きのPFDを装着していたため、陸上でカウテールの構造と使用方法及びロープワーク講習を実施。カウテールがない場合でロープのみの牽引や一人で複数の艇の牽引方法も実施した。カウテールもロープも使用せずに最寄りの岸までカヤックを牽引(誘導)する方法についても複数の方法で実施した。シートに干渉してカウテールがリリースできない場合があった。	
	活動フィールドの考察	検定受験者の活動フィールドは、1名が内水面の湖、2名が海での活動となる。それぞれの活動フィールドの風向きを考慮して、複数の出艇地を準備しておくことで、安全で余裕のある活動ができることを説明した。	
その他特記事項	検定受験者は、ウェットスーツにセミドライジャケット、ドライスーツ等ある程度十分なウェアで安全技術講習に望んでいたが、終了時はやはり寒く感じていた。 野外活動では、装備も身体も濡らさないことが大切で、身体については濡れても寒くならず乾きやすいウェアを身に着けていることが重要、活動中のフィールドでは自身が唯一の熱源となることを説明した。		